

団体名:フェーズフリーな防災企画チーム

炊き出し訓練

■活動の内容

「フェーズフリーな防災企画チーム」は、身の回りにあるものを日常はもちろん非常時にも役立てるという考えのもと、日常のまちづくり活動に非常時の共助を織り込み「平時（日常時）」と「非常時」の境目をなくした防災企画を実践しています。

今回は鳴海消防団による地域住民への防災訓練に合わせて行われた炊き出し実地訓練と、活動PRの様子、また、災害時にも役立つレタスなどの室内自家栽培の試作展示を視察しました。

- 日 時 令和6年9月22日(日)10時～11時
- 場 所 作川町公民館(緑区・鳴海)
- 内 容 炊き出し訓練
- 参 加 20名くらい



【防災訓練の様子】
住民参加で消火器の取り扱いと、AED講習が行われていました。



楽しみながら…ということで、今回の訓練はお祭り用の‘タコスとミニカステラ’。ワイワイしながら作業中。



20名ほどの参加者や町内会の呼びかけに関心を持って集まった皆さん。消防団の説明を熱心に聞かれていました。その後訓練で作成された‘タコスとミニカステラ’を試食タイム。手順が細かく記されたメモを活用し、実際にかかる時間や配給方法など確認しながら楽しんで取り組まれていました。

活動PR展示



草刈り機を作業効率UPのため創意工夫！また、災害時に新鮮な野菜の必要性を知り、今年度取り組む‘レタス室内自家栽培試作品’の展示

「今年の元旦に能登半島で大きな地震があり、8月8日に宮崎で大きな地震があり9日にも神奈川で地震がありました。南海トラフ地震への注意情報が気象庁より発表された事により地震発生への危機感を強くしました。フェーズフリーの防災活動は、草刈り・清掃や地域の行事などの平時のまちづくり活動を災害時の防災に繋がるように織り込んで進めることがポイントです！」と代表の井上さん。楽しみながら、意識しないで地域防災活動を推進する様子が伝わってきました。